

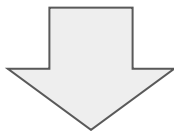
NPO法人 IKUNO・多文化ふらっと

大阪市生野区における外国ルーツの若者の
進路・キャリア支援活動と多文化共生の地域内循環の社会的仕組みづくり事業

《目的》

「誰一人取り残さない」多文化共生のまちづくり

外国ルーツの子ども・保護者が困窮・孤立化状況から抜け出すきっかけをつくるとともに、地域住民との相互理解と協力が進み、安心して生活できる地域共生社会の実現に寄与する。



《事業》

【教育・子育て】

《外国ルーツ青少年未来創造事業》

- ・調査・提言事業
- ・対面型の学習支援事業（個別指導）
- ・クロッシングフェス万国夜市等の多文化イベント事業

【保健・福祉】

《アウトリーチ手法による外国ルーツ住民の自立支援》

- ・オンライン型の学習支援事業（個別指導）
- ・多言語相談支援事業
- ・生野区区政推進基金の活用による公民連携事業

【進学・就労】

《外国ルーツ青少年の自立を支える進路・キャリア支援事業》

- ・参画・教育支援事業「エンパシード」
- ・進学・就労支援事業「ポジドリ」

【その他】

- ・こども食堂
- ・農園
- ・図書室
- etc...

社会課題

現状

日本人と比べて、
 (1)高校・大学等への進学率が低い
 (2)高校中退率、非正規就職率が低い

課題

(1)自己肯定感や将来(進学・就労)への意欲が低くなりやすい

原因①経済力の弱さ
 原因②日本語力の不足等による言語・学習のつまずき
 原因③同調圧力や社会的障壁によるアイデンティティの揺らぎ

(2)悩みを共有できる仲間等の不足・不在

原因①日本社会とのつながりが少ない保護者との心理的距離間
 原因②学校の教育体制の限界
 原因③地域における多様な職種やセクターによる連携・協力関係の未整備

(3)進学・就労情報へのアクセス方法の未整理と機会の未開拓

原因①社会的つながりの希薄化による高校の情報源への偏重
 原因②新たに挑戦活躍できる市場・就労機会の未開拓
 原因③大学等の高等教育への「特別入試」制度の不十分さ

大阪の課題

現状

他地域と比べて、
 (1)高校・大学等への進学率が高い
 (2)高校中退率、非正規就職率が低い

理由

同和教育や在日外国人教育を通して育まれた人権の視点に価値を置く教育観の元、様々な教育実践が取り組まれ、その一例として先駆的な「日本語指導が必要な外国人生徒入学者選抜校制度(枠校制度)」の導入及び実践により、格差是正に努めてきた

課題

(1)志願者増により、枠校に入学できなかった生徒が少数散在化

(2)人員が不足している等、支援体制が十分に整っていない少数在籍校に在籍する生徒が増加し、中退率等を引き上げる一因となっている

(3)枠校では、①しんどさを抱える日本人生徒の増加、②外国ルーツの生徒の多様化、③上記による教員の多忙化と教員の世代交代による人員不足

(4)枠校等の制度化に伴い周縁化され、支援につながれてない「日本生まれ日本育ち」や「不就学」等の外国ルーツの若者の存在

活動

参画・教育支援事業「エンバシード」

1-1:外国ルーツの若者の交流・居場所及び社会参画活動

1-2:外国ルーツの若者が主体となった交流・企画活動に対する伴走支援活動

1-3:「クロッシングフェス&いくの万国夜市」の企画・運営への参加活動

1-4:外国ルーツの若者による小中学生支援のためのサポーター養成活動

1-5:生野区内の保幼小学校と連携・協力した多言語絵本の読み聞かせ活動

1-6:当法人作成教育プログラムの生野区内の小中学校等の授業への持込みと外国ルーツの若者が主体となる学びの制度化活動

進学・就労支援事業「ポジドリ」

2-1:大学、企業等の情報の整理・提供活動

2-2:進学・就労に関するキャリア相談会等の啓発活動

2-3:企業等と連携・協力した仕事体験プログラムの開発と拡充活動

2-4:外国ルーツの若者と企業の相互理解と就職等につなげるマッチング活動

2-5:外国ルーツ若者を対象にした大学の特別入試枠の拡充活動

2-6:大学教員・企業家等による外国ルーツ若者を対象にした探求・プロジェクト型学びの活動

短期アウトカム

外国ルーツの若者

多様なエンバウメントプログラム・多文化共生プログラムの参画を通して、自分のルーツの文化を大切に思うことができ、また自己肯定感や自己有用感が向上している。

外国ルーツの若者

多様な進学・就労支援プログラムによる支援を通して、将来(進学・就労)への意欲が向上している。

事業所

生野区を中心にした地域エリアにおける事業所が、外国ルーツの若者の成長や可能性に期待感を抱き、採用に関心を抱いている。

外国ルーツの若者及び保護者

大阪市生野区を中心にした多様なセクター間の連携協力体制を組織化し、重層のかつ横断的な「外国ルーツの若者支援センター(仮)」を構築することで、外国ルーツの若者の進学・就労に関する選択肢が拡がり、幅広い進学及び就労が実現できている。

地域の社会的資源

大阪市生野区における地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)を構築することによって、外国ルーツの若者と保護者を取り巻く社会的資源が豊かになっている。

生野区民

大阪市生野区における地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)を構築することによって、生野区民が、生野区を「外国ルーツ住民が地域住民の一員として安心して暮らすことができるまち」だと感じている。

中長期アウトカム

中期アウトカム

外国ルーツの若者及びその保護者

公民産学地域連携による総合的で包括的な「多文化共生のまちづくり」の全国的な地域ロールモデルとなる地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)が展開され、地域の外国ルーツの若者及びその保護者が、中退率等の進路・キャリアに関する課題から抜け出すきっかけをつくっている状態

長期アウトカム

外国ルーツの若者

公民産学地域連携による総合的で包括的な「多文化共生のまちづくり」の全国的な地域ロールモデルとなる地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)の構築により、地域の外国ルーツの若者が、日本と母国を繋ぎ次世代を牽引するグローバル人材として活躍している状態

◇生野区における多文化共生の地域内循環の社会的仕組みづくり

